

公益目的事業1(定款第4条)

頁

1. 男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供 (第1号)	(1) 図書資料の収集と提供	① 図書情報室の運営	8	
		(2) 図書事業		① ブックフェア及び市立図書館等との連携
				② 男女共同参画パネル展
	③ 上映会			
	(3) 情報発信事業	① インターネットでの情報発信	10	
		② 啓発誌・講座案内の発行	11	
2. 男女共同参画社会の形成のための調査及び研究 (第2号)	調査研究	① データブック作成(隔年)	13	
3. 男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援 (第3号)	(1) 啓発事業及び学習支援	① みんなで考える男女共同参画講座	15	
		② 男性の家事・育児参画講座	16	
		③ 女性の就業継続支援講座	18	
		④ DV予防講座	20	
		⑤ DV啓発事業	21	
		⑥ 京で輝く! 女性活躍推進シンポジウム及びセミナー	22	
	(2) 企業・大学・地域との連携事業	性暴力被害者支援事業 ① サバイバーの声を届ける講演会	24	
		性暴力被害者支援事業 STAND Still 写真展	25	
		② 女子大学生と考える女性活躍	26	
		③ LGBT等居場所づくり (コミュニティスペース及び個別相談会)	27	
	(3) 教養・健康増進事業	① 運動実技講座 うた講座 その他教養講座	30	
		② ジェンダー論基礎講座	32	
	(4) 保育事業	① 事業参加者の保育 施設利用者の保育 ふれあい広場	34	

公益目的事業2(定款第4条)

			頁
4. 男女共同参画に関する相談 (第4号)	(1) 相談業務	① 女性のための相談	35
		② 男性のための相談	
	(2) 相談事業	① DV被害当事者のための自立支援事業	36
		② トラウマケアのための読書会	38
		③ 大学相談室派遣事業	39
		④ 相談員研修	
		⑤ 不安を抱える女性に寄り添った相談支援事業	40
	(3) 関係機関連携 苦情・要望等処理制度の受付	① 関係機関連携 苦情・要望等処理制度の受付	43

公益目的事業3(定款第4条)

			頁
5. 男女共同参画に関する市民の 活動の支援及び相互交流の促進 (第5号)	(1) 地域コミュニティ活性化の 促進事業	① センター利用者や地域との 協働事業	44
		② パープルリボンの取り組み他	45
		③ 中京区民ふれあい人権映画鑑賞会	46
	(2) 人材・団体育成事業	① 市民活動サポート事業	47
		② 防災教材づくり&ワークショップ	49
		③ 共催・後援事業/講座受講生の グループ育成	51
		④ 相談員養成講座	52
	(3) 京都市男女共同参画センター の目的利用団体に対する 施設管理業務		53

収益事業

	頁
京都市男女共同参画センター の目的利用団体以外に対する 施設管理業務	55

組織運営

	頁
経営管理、組織・人事管理	57
財務運営	59

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供		条項	第1号	
事業名	(1)図書資料の収集と提供／(2)図書事業		総合窓口課		
講座名					
目的	男女共同参画推進拠点としての情報発信力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 男女共同参画に関する情報・資料の収集 ・ 図書情報室利用者への適切なレファレンスの実施 ・ 所蔵資料を活用した啓発事業の実施 				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	1,310	1,175	135		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女共同参画に関する情報・資料の収集 ・ 図書情報室利用者への適切なレファレンスの実施 ・ ブックフェア及び市立図書館等との連携(パネル展) ・ 図書情報室資料を活用したDVD上映会 (「スウェーデンのパパたち」のパネル展示、及び男性の育児参画をテーマとした映画『ダブルシフト』上映会の実施)
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書情報室の周知と他図書館との連携
3. 実績
1. 男女共同参画ブックフェアの開催 <ul style="list-style-type: none"> ① 男女共同参画週間 「女だから、男だから、ではなく、私だから、の時代へ。」 6月17日(木)～7月17日(土) ② 国際ガールズデー 「10月11日は国際ガールズデー」 10月7日(木)～10月31日(日) ③ パープルリボン月間 「女性への暴力にNO!と言おう」#MeTooを一時のブームで終わらせない 11月1日(月)～11月30日(火) ④ 国際女性デー 「国際女性デー2022」 2月22日(火)～3月25日(金)

2.男女共同参画パネル展の開催

①男女共同参画週間 パネル展「スウェーデンのパパたち」写真展

6月17日(木)～7月1日(木) 共催 スウェーデン大使館

②国際女性デー パネル展「山川菊栄の足跡をたどる」

3月4日(金)～3月14日(月) 共催 山川菊栄記念会

3. ミニブックフェアの開催

新着資料を中心に、ジェンダーに関する時事問題に注目したミニブックフェアを開催
「平塚らいてう没後50年」「ジェンダー視点で読む“シンデレラ”」など 12回

4. 京都市立図書館へのブックリストとパネルデータの提供

以下の男女共同参画のテーマに関するブックリストと協会作成のパネルデータを、京都市立図書館に配布した。

① 男女共同参画週間 (10館)

② 国際ガールズデー (3館)

③ パープルリボン月間 (2館)

④ 国際女性デー2022 (10館)

5. 映画上映会

①上映作品「ダブルシフト～パパの子育て奮闘記～」

実施時期 6月25日(金)・26日(土) 4回上映 のべ37人

②上映作品「山川菊栄の思想と活動～姉妹よ、まずかく疑うことを習え」

実施時期 3月4日(金)・5日(土) 4回上映 のべ51人

3月5日(土)の2回は各回とも監督トーク有

<別紙1>「2021年度 図書資料の収集と提供」(p.63)

4. 概要と成果

ブックフェアは、図書情報室での展示にとどまらず、市立図書館にデータを提供することで、より多くの市民に向けた啓発の機会となった。

男女共同参画パネル展では、当協会で作成したパネルの他、スウェーデン大使館と共催で「スウェーデンのパパたち」写真展を開催。NHKをはじめとした複数のメディアに取り上げられた。

男女共同参画について考える機会として、図書情報室所蔵DVDの上映会を2回開催した。いずれも、啓発パネル展、ブックフェアと連動させた。「山川菊栄の思想と活動」の上映会では、作品の上映自体が珍しいことと、2日目に監督自身によるトークを行ったことなどから、夜間の上映回を除いてはほぼ満席となり、大変好評であった。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供		条項	第1号	
事業名	(3)情報発信事業		事業企画課		
講座名	①インターネットでの情報発信				
目的	ICT(情報通信技術)及びその他ツールを利用した情報発信により、男女共同参画の促進を図る				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	1,150	1,959	△ 809		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページの更新(随時) ・ メールマガジン「Wings Press」(月1回・号外) / Facebook・Twitter(随時)
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ タイムリーな情報発信と社会の時流にのったテーマ設定
3. 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページ 年間閲覧数 314,293回 / ユーザー数 73,703人(うち新規71,521人) ・ メールマガジン「Wings Press」 登録者数合計2,178人 ・ Facebook いいね数 585人 / 最大リーチ1,691人(イベントの最大リーチ692人) ・ Twitter フォロワー数1,534人(うち新規178人) <ul style="list-style-type: none"> 1ツイートの最大インプレッション(表示回数) 15,933回 1ヶ月の最大インプレッション(表示回数) 67,300回
4. 概要と成果
<p>ホームページは、アクセシビリティJIS X 8341-3:2016「AA」準拠を保ち、「つながる相談」ページを新設した。閲覧数は昨年に比べて約3万ビュー増加した。ユーザーの43%が18-34歳。35-44歳も26%となっており、ホームページの閲覧者は講座参加者よりも若い年齢層となっている。</p> <p>Facebookの最大リーチ数やTwitterのインプレッション数は前年度より増えており、Twitterの新規フォロワーも前年度の2倍に増えた。FacebookやTwitterを度々更新していることがそれらにつながったのではないかと考えられる。</p>

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供			条項	第1号
事業名	(3)情報発信事業			事業企画課	
講座名	②啓発誌・講座案内の発行				
目的	紙媒体を利用した情報発信により、男女共同参画の促進を図る				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	1,910	1,511	399		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 啓発誌「男女共同参画通信」の発行 年2回 年2回 各23,000部 ・ 講座案内「ウイングスきょうと」の発行 年6回 <ul style="list-style-type: none"> (6/7月号) 7,000部 (4/5, 10/11, 2/3月号) 7,500部 (8/9,12/1月号) 8,000部 ・ 「ジェンダーハンドブックNo.3」の次年度発行に向けた企画調査
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ タイムリーな情報発信と社会の時流にのったテーマ設定

3. 実績

- ・『男女共同参画通信』はvol.52「コロナ禍だから、女性だから、『しかたない？』」(23,000部)、vol.53「気づいて！インターネット・SNSで起きている“暴力”のこと。」(17,000部)を発行した。※京都市関連部署の配布部数変更により部数減となった。
- ・講座案内「ウイングスきょうと」は、偶数月の1日に発行した。
- ・ジェンダーハンドブックvol.1とvol.2を7月から販売サイトストアーズ等で有料販売を始めた。vol.1は805冊、vol.2は585冊販売し、約5万円の売上げとなった。

4. 概要と成果

- ・『男女共同参画通信』はvol.52では、長引くコロナ禍で、女性は仕事、家庭、様々な場面でしんどさや負担を抱えることになったが、非常時のしわ寄せが女性に集中してしまう背景に、「女性だからしかたない」といった“ジェンダー”が関係していることを伝え、「しかたない」を乗り越えるために必要な支援や考え方をインタビューやマンガでわかりやすく紹介した。
- vol.53では、今や生活に欠かせないものとなったSNSやインターネットが便利なツールである一方で、デジタル性暴力やストーカー被害、ネットバッシング・誹謗中傷などのオンライン上で起こる様々な“暴力”が日々深刻化していることを伝えた。また、その実態と背景にあるジェンダー、身を守るための法知識、加害者にも被害者にもならないためにはどうすればいいのかを紹介した。
- ・講座案内「ウイングスきょうと」は配付部数も配布先も多いため、講座やイベント情報の他に、つながる相談室や男女共同参画通信の発行についても掲載し、ウイングス京都で行っていることを広く案内し周知につなげた。
- ・ジェンダーハンドブックvol.1、vol.2の有料販売を開始した。チラシ、SNSでの広報効果があり、授業や研修で活用していただく等、合わせて1,390冊を販売することができ収益につながった。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の形成のための調査及び研究	条項	第2号		
事業名	調査研究	事業企画課			
講座名	データブック作成(隔年) *今年度発行なし				
目的	京都市の男女共同参画の現状を市民に情報提供することや、男女共同参画をテーマに調査分析を行うことで、男女共同参画を促進させる				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	10	0	10		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 次年度発行に向けた編集会議の実施
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 京都市との協議による内容の充実
3. 実績および4. 概要と成果
<p>隔月で編集会議を行い、リニューアル方針を確定させた。</p>

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援			条項	第3号
事業名	啓発事業及び学習支援			事業企画課	
講座名	みんなで考える男女共同参画講座				
目的	男女共同参画についての基礎知識を学ぶ機会として、一般、企業、学校教職員、PTA等の団体を対象に、男女共同参画に関する基礎用語や事象の解説などを行う講座を実施するとともに、男女共同参画の課題解決に向けた学習支援を行う				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	200	14	186		

事業の計画

1. 実施内容

- ①定期開催
一般市民向け基礎講座(年4回 ウィングス京都にて実施)
- ②出前講座
企業・教職員・団体向け基礎講座(希望に応じてテーマ・会場を選定)
＜講座テーマ＞
- ・ 男女共同参画とは
 - ・ 男女平等教育を考える
 - ・ 子育て世代の男女共同参画
 - ・ DVを知る・考える
 - ・ セクシュアル・ハラスメント
 - ・ 働くあなたのワーク・ライフ・バランス
 - ・ 防災と男女共同参画
 - ・ LGBTってなに？

2. 事業実施における課題

- ・ ニーズに応じた講座内容の充実

3. 実績

年間20回の講座を実施し、413人の参加となった。また、講座とは別に27件の学習相談に応じた。

<別紙2-1>「令和3年度『みんなで考える男女共同参画講座』年間利用数」(p. 64)

<別紙2-2>「令和3年度『みんなで考える男女共同参画講座』実施一覧」(p. 65)

<別紙2-2>「学習相談」(p. 66)

4. 概要と成果

今年度はコロナの影響を受け、依頼件数の減少や中止が発生する中、試験的にオンラインでの開催にも対応した。

出前講座を行うにあたっては、内容を誤解なく伝えること、他者が介入することで普段は話題にできなかった疑問点や感想をその場で共有し、フォローを行うことが重要であるため、双方向にやりとりできる対面での実施が最も有効である。

オンライン実施については、対面での講義を主催者所有の会議システムを用いて中継する方法や、Zoomミーティングで双方向にやりとりする方法等を行ったが、1つの画面を複数名で視聴された場合や、接続環境の影響による配信の途切れや画面の見づらさ、音声の聞きづらさ等の不満が満足度の低下につながった。また、同講義を対面で参加した場合とライブ配信を視聴した場合とで満足度や理解度に差がある結果となった。

ただし、Zoomミーティングで参加者が個別に視聴する環境を確保でき、アンケートがオンラインでの回収の場合(他人の目に触れない)に、対面の時よりも思いのままに回答していただけた事例もあった。

今後、内容だけでなく実施の方法について、どんな形で設定すればより効果的な学びにつながるのかを検討していきたい。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援			条項	第3号
事業名	啓発事業及び学習支援			事業企画課	
講座名	男性の家事・育児参画講座				
目的	男性が育休や男性版産休制度を戸惑うことなく利用し、ワーク・ライフ・バランスを維持するための支援				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	380	89	291		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> 男性版産休制度、男性の家事・育児への参画の意義、パートナーとの円滑なコミュニケーション等について専門家から学ぶ(全3~4回)
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> 男性の家事・育児への参画を、一時的なものではなく日常的なものにするための意識づけ

3. 実績

プレパパ育児講座 楽しく暮らすパパスイッチを入れよう(オンラインで開催に変更)
回数(3) 定員(40) 応募者数(20) 参加者数(20) のべ参加者数(37)
定員充足率(50%)

①男性の育休制度ってどんなこと? 育休取得の秘訣

【日時】 5月22日(土)10:00~12:00

【講師】 篠田厚志 NPO法人ファザーリングジャパン関西理事・元大阪府職員
育児休業体験者 己波(みわ)智司

【内容】育児休業制度・育児休業給付金制度・子ども育児休暇の時間休・男性版産休の新設の説明と 育児休業者の体験談

※講義部分のみ後日Youtubeで動画配信

②赤ちゃんと暮らすことで、自分たちの生活はどう変わっていくのか

【日時】 6月5日(土)10:00~12:00

【講師】 川内恵美子 兵庫医療大学看護学部講師。助産師・保健師・看護師・養護教諭

【内容】赤ちゃんの発達段階・病気の対応等の講義とおむつ替え、抱き方等の実技

③赤ちゃんと遊び方、パートナーとのコミュニケーション

【日時】 6月19日(土)10:00~12:00

【講師】 阿川勇太 兵庫医療大学看護学部助教・保健師・看護師・保育士・NPO法人ファザーリングジャパン関西副理事長

【内容】乳児との遊び方等と夫婦の価値観の違いを知り互いに理解するための講義とワークショップ

4. 概要と成果

緊急事態宣言発令を受けて急遽、オンライン(Zoom)で実施した。

第1回は、受講生はチャットで講師に質問をして、回答を得ていた。受講生同士でもチャットでアドバイスしあって盛り上がった。苦手な家事を素直に告白して、夫婦がお互いの得意な家事を分担することに賛同する意見が出ていた。

第2回は、チャットではなく音声による質疑応答ができ、気楽な雰囲気を受講できたのが良かったようだ。オンラインでは、ペア参加でも、男性がメインの受講生であるという意識が強く、女性は発言しにくかったようだ。

第3回の遊び等の実演は分かりやすく、実際にやってみたいという意見もでて好評を得たが、受講生は実技を見ているだけで、その場でやろうとする様子はなかったため、会場開催で実技をすることの重要性を感じた。

男性が育休を取得した場合の経済的な面を心配する人も多かったため、次回は社会保険労務士などの講師も検討する。オンラインの場合、講師と受講生の質疑応答は活発に行えたが、受講生の同士のグループワークについてスムーズな意見交換が今後の課題である。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援			条項	第3号
事業名	啓発事業及び学習支援			事業企画課	
講座名	女性の就業継続支援講座				
目的	育児と仕事が両立できる就業継続支援を行う				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	300	146	154		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・産休・育休中の女性を対象に、安心して職場復帰し、主体的にキャリア構築できる講座を実施(全4回:オンライン1回+対面3回)
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・就業継続のための意識付けとパートナーをはじめ職場関係者との円滑なコミュニケーションについて主体的に考えるための働きかけ ・受講生同士の情報交換と交流の場づくりへの働きかけ

3. 実績

<オンライン>

回数(1) 定員(20) 応募者数(11) 参加者数(9) 定員充足率(45%)

【日時】7月16日(金) 14:00~15:30

【講師】畠中直美(一般社団法人チャレンジドLIFE代表・キャリアコンサルタント)

形式: Zoomを使用。受講生とのオンライン双方向による講座を実施。

【内容】育休は絶好のリスタート期間ととらえる。復職したら、仕事の仕方を変えるなど、トライ&エラーで新しい仕事のスタイルを見つけることが大事だと伝えた。

<対面>

回数(3) 定員(15) 応募者数(10) 参加者数(10) のべ参加者数(21) 定員充足率(67%)

【日時】①10月7日(木) ②10月14日(木) ③10月28日(木) 各14:00~16:00

【講師】畠中直美(一般社団法人チャレンジドLIFE代表・キャリアコンサルタント)

【内容】ワーク等をとおして、客観的に自分を把握したうえで、未来の自分のキャリアのために今どうすればいいかを考えた。また、それを受講生同士で共有し、自分とは異なる考え方を聞くことで新たな発見につなげた。最後の座談会では、様々なテーマで受講生同士が自由に語り合い、交流を深めた。

4. 概要と成果

7月の講座は、感染予防のためオンラインで実施した。初めての試みで受講生が話しづらく意見が出にくいのではないかと思ったが、少人数でアットホームな雰囲気だった為、最初の自己紹介の場から、悩んでいることや不安に思っていることを素直に語られ最後まで和やかだった。

講師が、3児(1才、4才、9才)の母親ということもあり、講師自身の経験から語られるリアルなアドバイスや考え方のヒントは、受講生の悩みや不安を減らすことや共感につながり、講座に対する満足度も高かった。

対面講座については、コロナ感染拡大中で、集客が難しかったが、少人数での開催ということもあり、和やかな雰囲気の中、受講生同士が話す機会も多く提供出来た。出産の時からコロナ禍で他の母親達と交流する時間がなかったため、交流する時間がとても有意義だったようだ。

また、対面講座は、保育付きで実施したが、就業継続をした後のキャリアを考える時、子どもと離れてじっくり自身を見つめ直す機会を持つことの重要性を感じた受講生が多かった。今後もこういった機会を提供していきたい。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3号		
事業名	啓発事業及び学習支援	事業企画課			
講座名	DV予防講座				
目的	DVや性暴力根絶のために、若年層に向けた予防教育をはじめ、関係機関の職員等に向け、DV予防について啓発を行う				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	290	67	223		

事業の計画

1. 実施内容
・ 関係機関や高校・大学等と連携しDVやデートDVの予防講座を実施する
2. 事業実施における課題
・ 啓発先の拡充、対象となる機関との連携
3. 実績
<p>【講師】①③伊田広行(非暴カルーム・大阪NOVO(ノボ)) ②重松和枝(NPO法人CAPセンター・JAPAN 事務局次長)</p> <p>①お互いの心と体を大切にしよう ～デートDVについての学び～ 回数(1) 参加者数(70) 【対象】中京中学校 中学校2年生・教員 【日時】1月27日(木)14:20～15:10</p> <p>②子どもの権利を意識して子どもの育ちを支える～子どもにとってのサードプレイス 児童館・学 童保育～ 回数(1) 参加者数(87) 【対象】京都市内の児童館・学童保育職員 【日時】2月21日(月)10:00～12:00</p> <p>③お互いの心と体を大切にしよう ～デートDVについての学び～ 回数(1) 参加者数(219) 【対象】桂中学校 中学校2年生・教員 【日時】2月28日(月)14:25～15:15</p>
4. 概要と成果
<p>3回ともコロナウイルス感染拡大防止のため、Zoomによるオンラインセミナーになった。</p> <p>①③中学2年生にわかりやすい言葉でデートDVについて説明した。担任教員が、DVのロールプレイを行ったので、生徒は関心をもって熱心にきいていた。後日、アンケートに書かれた生徒の質問に対する講師の回答を学校側に送り学習を深める事ができた。</p> <p>②人権侵害や面前DVの具体的な事例を解説したため、参加者は理解しやすかったようだ。コロナ禍でDV・児童虐待が増えている。問題を発見したら通報して児童の生活環境を変えることが大切であり、予防的観点を持って未然に防ぐ重要性を強調していた。</p> <p>今後も、こういった対象にDV予防講座を広げていくため、広報に工夫が必要だと感じた。また、Zoomオンラインセミナーで実施ができることを広報できれば、対面セミナーを控えている団体にも講座を検討してもらえるのではないかと。</p>

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援		条項	第3号	
事業名	啓発事業及び学習支援		事業企画課		
講座名	DV啓発事業(新規)				
目的	DVや性暴力根絶のために、市民に向け広く啓発を行う				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	665	684	△ 19		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> DVや性暴力根絶に向けた広報物を作成し、市民に向け啓発する
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> 市民が関心を向ける媒体での広がりのある啓発
3. 実績
<p>女性に対する暴力をなくす運動(11月12日(金)～25日(木))に合わせ、パープル月間として「パートナーとの関係は対等ですか?」と書かれた広告でDV防止を啓発した。</p> <p>①京都リビング新聞社 広告掲載 10月29日号 京都市全域(中央・東南・西南エリア) 483,850部</p> <p>②京都市地下鉄の車内吊ポスター 270部 烏丸線 横枠広告 140部 東西線 横枠広告 130部 掲載期間 11月1日～30日 1ヶ月間</p>
4. 概要と成果
<p>広告やポスターには、「女性被害者専用相談」と「男性のためのDV電話相談」の連絡先を記載し、DV被害者やDV加害者を相談につなげる案内を行った。</p> <p>さらに、京都リビング新聞社の広告には、パートナーの行動からDVを判断するチェックリストを掲載し、自分でDVに気づく機会を提供した。また、11月のパープル月間にウイングス京都で行うDV関連の催し(写真展・オンライントークイベント・映画上映会&アフタートークなど)の告知記事も併せて掲載した。この告知が催しの参加につながるなど、リビング新聞で広く市民に周知出来たことは有意義であった。</p>

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3号		
事業名	啓発事業及び学習支援	事業企画課			
講座名	京で輝く！女性活躍推進シンポジウム及びセミナー				
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・京都企業の経営戦略として、女性の活躍推進に取り組み、女性はその個性と能力を十分に発揮しながら職業生活で活躍する ・女性活躍の阻害要因となっている男性中心の働き方の見直しを進め、男性の家事・育児への参画を促進する 				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	1,300	1,300	0		

事業の計画

1. 実施内容
「輝く女性応援京都会議」で策定した「京都女性活躍応援計画」に基づき、企業等の経営層、人事担当者、管理職を対象にしたシンポジウム及び一般社員を対象としてセミナーを実施
2. 事業実施における課題
・女性活躍推進のための目的に沿ったプログラムの構成
3. 実績
<p>「輝く女性応援京都会議」(事務局:京都市・京都府・京都労働局・京都商工会議所)受託事業</p> <p><シンポジウム> イベントホールでの開催および後日講演部分の録画をYouTubeで配信 「変化の時代を+(プラス)で乗り切る企業戦略～多様な人材が活躍できる組織づくり～ 回数(1) 定員(100) 応募者数(100) 参加者数(95) 定員充足率(95%) 【日時】10月22日(金) 14:00～16:30 [録画配信]11/5(金)～11/14(日)17:00 【対象】企業の経営層、管理職、人事担当者など 【内容】 ・基調講演 『“自分らしさ”を活かせる環境が企業を成長に導く』 上田 セシリア(アマゾンジャパン コーポレート人事本部 ディレクター) ・パネルディスカッション 「教えて！女性活躍 多様な人材が活躍できる仕組み」 モデレーター:村上 圭子(京都文化交流コンベンションビューロー専務理事) パネリスト:安藤 孝夫(三洋化成工業株式会社 取締役会長) 伊藤 尚志(デロイトトーマツ コンサルティング合同会社 関西ユニットパートナー) 上田 セシリア氏(アマゾンジャパン コーポレート人事本部 ディレクター) ・主催者事業紹介</p>

<セミナー> オンライン開催に変更

「今こそ、男性版産休を考える」

回数(1) 定員(30) 応募者数(26)

【日時】1月28日(金)14:00~16:00

【対象】企業の人事の方、テーマに関心がある方

【内容】

- ・講演「46歳で父になった社会学者」が育児を通して考えたこと
工藤保則(龍谷大学社会学部教授)
- ・制度解説 出生時育児休業(男性版産休)について解説
京都労働局
- ・先行事例発表
京都中央信用金庫
森島寿夫(京都中央信用金庫八幡支店支店長)
高堂郁也(京都中央信用金庫八幡支店主任)
- ・グループワーク

4. 概要と成果

<シンポジウム>

コロナ禍で暮らしや社会が一変し、これまでの“あたりまえ”が大きく変わる変化の時代を、企業が「+(プラス)」で乗り越えるためのカギの一つとして「多様性」を提示。

基調講演では、多様な人材が活躍できる組織となるためにAmazonが重視する「考え方」や「試み」について共有。それぞれの「価値観」を尊重し、自分の価値観を押し付けないことが重要としたうえで、時に負担を伴うが、それも含めて“違いを受け入れる”ということや、具体的な取り組みとして男女の性差に偏らないジョブディスクリプションの見直し、採用や人事評価にまつわるアンコンシャスバイアスを取り除くトレーニングの徹底、有志の社員による社内のマイノリティ当事者へのサポート活動(アフィニティグループ)など、“全員がリーダー”の心構えで日々取り組まれる多種多様な試みをご紹介いただいた。

パネルディスカッションでは、さらに京都に事業所をもつDEIに取り組む企業2社の取り組みを共有。多様性とは単なる数合わせではなく、ジェンダー、世代、職位、職種、人種など多様なバックグラウンドを持つ人の経験から新たな気づきを促し、イノベーションを生み出す源泉として機能させること。そのために失敗を恐れずに、実験的に、チャレンジを積み重ねることの大切さを確認した。参加者の満足度は96~98%と高く、多方面から好評を博した。

終了後は、京都市男女共同参画推進協会のnote「gender eye」にイベントレポートを掲載し、広く周知も行った。

京都市から「女性活躍を推進する男性リーダーの会」に働きかけていただいたことで、女性活躍推進に影響力を持つ経営層や管理職の参加割合を高めることができたため、今後も連携をはかり効果的な事業を行いたい。

<セミナー>

「男性版産休」の義務化に合わせ、企業の人事担当者等を対象に、制度の内容を理解することや取組の推進について学んだ。

制度については専門家より解説があり、取組事例については、男性の育休取得率99%の企業から人事課が管理職向けに実施した研修等の事例を話していただいた。

「男性版産休」の促進には、制度改革と風土改革の両方が必要であることを学ぶ場となった。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3号		
事業名	企業・大学・地域との連携事業	事業企画課			
講座名	性暴力被害者支援事業 ①サバイバーの声を届ける講演会				
目的	大学生を対象に「性暴力」について学ぶ機会を提供することで、彼らが被害者や加害者にならないための予防教育を実施する				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	260	100	160		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学生を対象に性暴力サバイバー(被害を乗り越えた人)の講演会を実施(1回)
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学との連携と協力
3. 実績
<p>「性暴力の被害者にも加害者にも傍観者にもならないために」 回数(1) 参加者数(195) 【日時】12月9日(木)14:20~16:10 【講師】山本潤(一般社団法人Spring幹事/SANE(性暴力被害者支援看護師)/法務省法制審議会刑事法(性犯罪関係)部会委員) 【対象】京都華頂大学・短期大学の学生と教職員 【連携・協力依頼先】京都華頂大学・短期大学</p>
4. 概要と成果
<p>若い世代がジェンダーを背景にした暴力の問題に向き合い、自分には何ができるのか、社会がどうあればよいのかを考える機会として講演会を実施した。ソーシャルディスタンスに配慮しつつ対面で実施したが、会場は満席となり、入れない方もおられた。性暴力被害の実情と刑法改正の経緯等について学ぶとともに、被害者にも加害者にもならないために必要な「性的同意」についても周知した。自分事として捉えられるよう、学生の身近にある暴力として、就活生を狙った性犯罪やインターネットやSNSの普及による「デジタル性暴力」の問題にふれ、性的同意における真の同意とは何かについて考える構成にした。</p> <p>アンケートからは自分事とまではいかないまでも、身近な誰かが被害に遭った時に必要なスキルとしてどのように対応したらいいのかを学んだことがうかがえた。</p> <p>また聴講後の理解度は89%、「意識の変化があった」と99%が回答している。多くの学生が講師の言葉を真摯に受け止めており、次年度以降も継続してこのような機会を設けていきたい。</p>

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3号		
事業名	企業・大学・地域との連携事業		事業企画課		
講座名	性暴力被害者支援事業 ②STAND Still 写真展(新規)				
目的	性暴力被害者に対する偏見や先入観に気づききっかけを提供する				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	180	88	92		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> 性暴力サバイバーたちによる写真展実施(1回)
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> 来場者の気づきや感想を共有できる場づくり
3. 実績
<p>①「STAND Still ～性暴力サバイバービジュアルボイス写真展～」 【期間】11月12日(金)～11月18日(木) 【場所】ウイングス京都 1階 ギャラリースペース 【内容】大藪順子氏による性暴力サバイバーの声を伝える写真プロジェクトとして、性暴力サバイバーたちが撮影した写真17点を展示した。</p> <p>②STAND Still オンライントークイベント「性暴力サバイバーたちの道のり」 回数(1) 定員(50) 応募者数(35)※後日録画配信有11/20(土)～11/27(土) 【日時】11月13日(土) 14:00～15:30 ※Zoom開催 【内容】大藪順子氏によるトークイベントとして、『STAND Still』に託された思い、被害に向き合うことや回復への道のりを語っていただいた。</p>
4. 概要と成果
<p>被害者として被写体にされがちなサバイバーたちが撮影した写真とキャプション(彼らの声)はこれまでの被害者支援とは違った視点で「性暴力」について提示できた。</p> <p>また、トークイベントではサバイバーでもある大藪順子氏が、「STAND Still」のプロジェクトについてや性被害からの回復の道のりにおける「表現」の大切さを語った。イベント中は、Zoomの機能を使いプライバシーに配慮した上でチャットでの質問を受けるなど、参加者にとって安心・安全なイベントが実施できた。</p>

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3号		
事業名	企業・大学・地域との連携事業	事業企画課			
講座名	女子大学生と考える女性活躍				
目的	大学と協働で事業を行うことで男女共同参画の加速化をめざす				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	155	10	145		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> 大学との連携によるロールモデルトークを実施し、女性が働き続けることや自身のキャリアについてイメージできる場とする(全2回オンラインで実施)
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> 大学との円滑な連携 「就職」に重点を置いたセミナーではなく、働き続けることに意味を見出す機会とする
3. 実績
<p>女子学生に働き続けることを身近にイメージし、『自分の人生の将来像(キャリア)を描きながら自分で選択していくことの大切さ』を学ぶきっかけとなるよう、京都にある女子大学と連携し、前年度収録した「働く女性ロールモデルによる座談会」の動画を授業で学生に視聴してもらった。</p> <p>【連携大学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●華頂短期大学 <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 6月28日(月) ・受講生 2年生26人 ●同志社女子大学 <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 12月9日(木) ・受講生 2年生13人・3年生60人 計73人 ●京都華頂大学 <ul style="list-style-type: none"> ※京都華頂大学については、動画視聴後、当協会職員が女子学生向けに「就職活動に向けて働く女性の現状を知ろう」と題して講義を行った。 ・実施日 1月20日(木) ・受講生 2年生47人・3年生27人・4年生2人 計76人
4. 概要と成果
<p>アンケート結果が、各大学とも「大変良かった」と「良かった」と合わせると8割以上となり好評であった。また、会社の規模も職種も世代も違う女性から、現在の仕事の様子や家事・育児との両立、また仕事に対する考えを伝えることで、女子学生にとって仕事に対する視野が広がり、多様な選択肢があること等の学びに繋がった。ただ、大学の機材を使っただけの動画視聴となるため、特にオンライン授業の場合、動画の配信状況が良くなかったことで「聞き取りづらかった」という声があった。大学側に学生が動画視聴をする前に、事前にテスト視聴を依頼するなど、良い視聴環境で学生に見てもらえるような配慮が必要であると感じた。</p>

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援			条項	第3号
事業名	企業・大学・地域との連携事業			事業企画課	
講座名	LGBT等居場所づくり(コミュニティスペース及び個別相談会)(新規)				
目的	LGBT等の当事者支援のための居場所づくり				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	300	200	100		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・京都市共生社会推進室(人権文化推進担当)、Tsunagaryオフィス合同会社と連携し、LGBT等の当事者が理解ある空間で集う場(京都まあぶるスペース)を提供する(3~4回) また、併せて個別相談会を実施する
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・京都市共生社会推進室(人権文化推進担当)、Tsunagaryオフィス合同会社との円滑な連携

3. 実績

LGBT等コミュニティスペース京都まあぶるスペース 全4回

【講師】①③阪部すみと Tsunagary Cafe(つながりカフェ)

②本多まさ プライドプロジェクト代表

④井上ひとみ 特定非営利法人カラフルブランケット理事長

①職場について考える (オンライン開催(ZOOM))

回数(1) 定員(15) 参加者数(10) 定員充足率67%

個別相談 定員(2) 参加者数(0) 定員充足率0%

【対象】LGBT当事者又はそうかもしれない方・ご家族・支援者・関心のある方

【日時】6月21日(月)18:30~20:30

②学校について考える

回数(1) 定員(15) 参加者数(7) 定員充足率47%

個別相談 定員(2) 参加者数(0) 定員充足率0%

【対象】23歳以下で、かつLGBT当事者又はそうかもしれない方

【日時】8月2日(月)15:00~17:00

③パートナーシップ宣言制度について考える

回数(1) 定員(15) 参加者数(12) 定員充足率80%

個別相談 定員(2) 参加者数(1) 定員充足率50%

【対象】LGBT当事者又はそうかもしれない方・ご家族・支援者・関心のある方

【日時】10月24日(日)14:00~16:00

④社会参加について考える

回数(1) 定員(15) 参加者数(10) 定員充足率67%

個別相談 定員(2) 参加者数(1) 定員充足率50%

【対象】性自認が女性の性的少数者(レズビアン、トランス女性等) * 運営も女性のみ

【日時】12月4日(土)14:00~16:00

4. 概要と成果

トークセッションは、参加者とスタッフ全員の自己紹介をしてから、メインテーマと「セクシュアリティ」「カミングアウト」「フリートーク」等の4つのルームを設けて個別に分かれて対話した。前半30分・後半30分でグループメンバーが変わり、各回が終わるタイミングで、話した内容を全員で共有した。

オンラインセミナーは、欧州からパートナーと参加した方もいて、多様な方々が集う場となった。23歳以下に限定して開催した時には「年齢層が指定されていると参加者の雰囲気想像しやすく、参加しやすい」という意見があった。

どの回の参加者にも好評で、「性に関して感じていたこと、疑問に思っていたことを、様々な考えを持つ方と話して発見することもあったので、非常に楽しかった」と話されたり、「こんなことはここでしか話せない」と話しながら、感極まって涙を流された参加者もいた。また、LGBT等の当事者同士が話す場に初めて来た方が多く、偽らない自分を出せたことに安堵したようであった。

トークセッションも個別相談も、申し込みをしても、来館されない人もいたので、今後は広報で講師や講座の様子などを伝え、安心して参加できる雰囲気を伝えていきたい。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3号		
事業名	企業・大学・地域との連携事業	事業企画課			
講座名	大学での“思春期男子の男らしさと暴力”に関する出前講義				
目的	(公財)京都市ユースサービス協会と連携し、大学生に「思春期男子の男らしさと暴力」について考える機会を提供する。				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	0	0	0		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・立命館大学「子ども若者の成長と社会(ユースサービス概論)」および佛教大学「社会教育課題研究」にて、『Gender Handbook vol.2』に関連した講義を行う
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・若年層に向けた「思春期男子の男らしさ」に関する啓発 ・大学や外部教育機関との連携
3. 実績
<p>公益財団法人ユースサービス協会との連携</p> <p>【日時】①12月2日(木)10:45~12:15 立命館大学 「子ども若者の成長と社会(ユースサービス概論)」</p> <p>②12月3日(金)14:30~16:00 佛教大学「社会教育課題研究」</p> <p>参加人数:①10名 ②15名</p> <p>【内容】『Gender Handbook vol.2 #ボクらは誰も傷つけない ~「男らしさ」の謎を探る冒険~』を活用し、思春期男子が抱えがちな「男らしさ」による生きづらさや暴力の問題について考える出前講義を行った。</p> <p>【協力】一般社団法人ホワイトリボンキャンペーン・ジャパン</p>
4. 概要と成果
<ul style="list-style-type: none"> ・学生の講義内容への関心が高く、グループワークも各人の立場からの率直な意見交換がなされた。講義全体を通して学生自身が気付きを得ていく様子が目に見えた。 ・一般社団法人ホワイトリボンキャンペーン・ジャパンと連携し、講義内容の作成、講師を担当したことで、男性当事者の視点を踏まえた講座とすることができた。 ・「男性相談」「女性相談」の役割と意義について伝えることができ、ウイングス京都の取り組みに関する若年層への周知に繋がった。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援			条項	第3号
事業名	教養・健康増進事業			事業企画課	
講座名	運動実技講座・うた講座・その他教養講座				
目的	生涯にわたる健康と生きがいを維持できるよう市民ニーズに応えたさまざまなプログラムで、幅広い年代を対象とした講座を開催する				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	7,680	6,136	1,544		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ フィットネス講座(9コース×3期=27コース) ・ うた講座(5コース×3期=15コース) ・ 歌声喫茶(年4回) ・ 朗読講座(1クラス×2期)
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 万全な感染対策を行った安心・安全な場での実施による受講者の確保

3. 実績

<別紙3>「運動実技・うた講座・朗読講座・声トレ講座」(p.67-70)

4. 概要と成果

①運動実技講座

「ピラティス」、「気功」、昼の「ヨガ」は安定した受講生数を確保した。しかし、夜間の「ヨガ」については、感染予防のため、仕事帰りの外出を控えたためか、受講生が減少した。そこで、「パワーヨガ」の内容および名称をリニューアルし、「コンディショニングフローヨガ」としたことで、新規受講生を獲得できた。

また、上半期の緊急事態宣言期間・まん延防止法期間は20:00閉館となったため、冬期から夜間の時間を19:00開始から18:45開始に変更し、終了時間を20:00とした。広報で衛生管理や安全性を伝えて、今後も受講生の確保に努めていく。

②うた講座

コロナ感染防止のため、昨年度と同じく、定員を40名の半分20名とした。希望者が多いジャズと愛唱歌は、全員参加できるように、2コースに分けて隔週開催にした。月曜のコーラス2講座は、秋期から講師の変更をしたが、受講生の意見も聞きながら新しいコーラス講座を作っている。

③朗読講座

3年ぶりに「小さな朗読発表会」を実施でき、内容も来場者、出演者共に好評であった。モチベーションの維持のためにも発表の機会は継続して作っていききたい。

④声トレ講座

自粛生活による発声講座へのニーズの高まりをうけ新設した。新規講座ながらお試し講座、本講座共に定員に近い受講生を獲得でき、内容も好評であった。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援			条項	第3号
事業名	教養・健康増進事業			事業企画課	
講座名	ジェンダー論基礎講座				
目的	日常に潜む違和感についてフェミニズムの視点で考える				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	160	223	△ 63		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ テーマに沿った専門家たちによる有料連続講座(全5回) ただし1回目のガイダンス、5回目の交流会は自由参加 ・ 専門家の講義部分のみ、後日有料配信
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ オンライン決済の構築や講義部分の録画提供方法

3. 実績

テーマ:フェミニズムってなんだろう？

回数(3) 会場 定員(25) 応募者数(20) 参加者数(16) のべ参加者数(37) 定員充足率(64%)

※新型コロナウイルス感染予防対策として参加者を減らすため申込が20人になった時点で締め切った。

オンライン 応募者数(31) 講義部分を後日Youtubeで配信

各日とも 14:00~16:30

①1月22日(土)「フェミニズム」の思想に触れる

【講師】藤高 和輝(京都産業大学 文化学部 国際文化学科 助教)

【内容】フェミニズムとは何か、その思想のあり方を学ぶとともに、「第三波フェミニズム」に注目し、ジェンダーだけでなく「多様性」を視野に入れたフェミニズムについて考えた。

②2月19日(土) フェミニズムと戦後日本の女性たち

【講師】柳原 恵(立命館大学 産業社会学部 准教授)

【内容】日本において特に戦後、フェミニズムに位置づけられる展開をした女性たちはどのようなアクションをしていたのか。地方の草の根の活動を中心に学んだ。

③3月19日(土)「私のからだは私のもの」をめぐる過去と現在(いま)から考える

【講師】原田 薫(ウィメンズセンター大阪代表)

【内容】「私のからだは私のもの」のスローガンのもと、多くの女性たちが「セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」を求め活動した歴史を振り返り、社会の中で女性がどう扱われてきたのか、その課題解決に向けて私たちがどう引き継いでいけるかを考えた。

4. 概要と成果

最初にフェミニズムの概論を学び、今自分が居る日本におけるフェミニズムの歴史を押さえた上で、フェミニズムが自分とどう関わっているのか、自分に引き寄せて考えられるよう講座を展開した。

集客につながるような様々な決済方法で受講料が振り込めるチケット販売サイト「Peatix」を用いると共に、後日配信での受講も出来るよう工夫した。ジェンダーに関する講座を有料で実施するのは、初めての試みであったが、反響は良く、会場とオンラインを合わせて51人と多くの方にお申込みいただきニーズにあった講座を設定出来た。

また、アンケートから、テーマ設定について「大変良かった」が100%、講師設定についても、「大変良かった」が90.9%と非常に満足されており、その分、次回についても期待しておられるため、内容を熟考し期待に応えられるものにしたい。

受講料収入:285,037円(Peatix手数料差引後)

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3号		
事業名	保育事業	事業企画課			
講座名	事業参加者の保育・施設利用者の保育・ふれあい広場				
目的	講座保育・一時保育と親子同士がふれあう事業をNPOとの協働で行い、子育て中でも安心して学習や研修に参加、あるいは相談室利用ができる環境を提供する				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	1,600	1,055	545		

事業の計画

1. 実施内容
<p>保育事業を保育グループマザーグースと協働で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業参加者の保育／施設利用者の保育 4ヶ月以上就学前までの子ども対象 ・ ふれあい広場 親子で参加するふれあい広場をマザーグースや他の子育て関連団体と連携し実施
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規メンバーの定着支援 ・ 乳児の保育需要の割合が増えつつある現状に沿った体制整備
3. 実績
<別紙4>「保育事業」(p.71)
4. 概要と成果
<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため緊急事態宣言期間中(4/29～5/31)は保育を中止した。昨年度に引き続いて感染防止対策を行った前年度の中止期間は約5ヵ月、今年度の中止期間は約1ヶ月であったので、保育した子ども人数は昨年度の179人より21人増え200人であった。</p> <p>【主催事業受講者の保育】(対象年齢:4ヶ月以上就学前) 京都市からの受託事業、および自主事業に対して保育を実施した。</p> <p>【施設利用者の保育】 図書情報室・相談室など、京都市男女共同参画センター利用者に対し、保育を実施した。</p> <p>【ふれあい広場】 親子で気軽に参加できる催しを10回開催(年間で12回実施予定だったがコロナ感染拡大により2回中止)。親が孤独な育児にならないように、困ったことや分からないことについて講師や保育スタッフがアドバイスをした。気楽に親同士が話せる場を提供し、育児の不安をなくし落ち着いた気持ちで育児ができるように工夫した。</p> <p>【運営会議】 月1回保育担当者が、マザーグースと運営会議を行い、保育について情報共有し、安心・安全な保育が実施できるようにした。</p>

公益2	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する相談	条項	第4号		
事業名	相談業務	事業企画課			
講座名	①女性のための相談／②男性のための相談				
目的	男女共同参画に関わる市民の多様な相談ニーズに対応し、相談者自身が悩みの背景を認識し、自己を肯定して問題解決を図っていけるようサポートする				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	13,220	13,362	△ 142		

事業の計画

1. 実施内容

- ・ 女性のための相談
(電話・面接・女性への暴力相談・法律相談)
- ・ 男性のための相談
(面接・DV電話相談)

2. 事業実施における課題

- ・ 公共機関としての相談運営体制の再構築
- ・ 男女共同参画の視点を持った相談員の育成

3. 実績

種類		2021年度	2020年度	前年比
女性のための相談	電話	662	849	78.0%
	面接	596	618	96.4%
	法律	37	39	94.9%
	女性の暴力	62	119	52.1%
男性のための相談	面接	66	86	76.7%
	男性DV電話	20	20	100.0%
合計		1,443	1,731	83.4%

4. 概要と成果

数回にわたる緊急事態宣言発出に伴った休館や、まん延防止等重点措置等により、受理件数は前年比83.4%の1,443件に留まった。緊急事態宣言が解除されても外出を控える人も多く、平時での平均受理件数と比較すると72%となっている。

女性への暴力相談が伸び悩んだ要因は、年度でカウンセラーの交替があり前年度内に終結した相談者が多かったことと、コロナ禍により新規相談者が定着しなかったことにある。

公益2	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する相談			条項	第4号
事業名	相談事業			事業企画課	
講座名	①DV被害当事者のための自立支援事業				
目的	DV被害者が、専門家の助言を得ながら、当事者同士で語り合い、互いに受容しあうことを通して、人が本来持つべき自尊感情を取り戻すことにより、心身の回復を促す				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	483	309	174		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義とアドバイザーを交えたグループでの語り合い(全5回) ・ 講座後のアフター会の実施(全3回) ・ 成果報告書(2013~2019)の作成
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 潜在的な対象者へのアプローチと参加者確保 ・ 関連機関との連携 ・ アフター会メンバー、アドバイザーとの協働

3. 実績

- ①DV被害者自立支援講座「わたしが私であるために」
回数(5) 定員(15) 参加者数(4) のべ参加者数(20) 定員充足率(27%)
【日時】10月9日(土)～12月4日(土) 全5回 10:00～12:00
【講師】竹之下雅代(ウイメンズカウンセリング京都)
【対象】DV被害を受けた経験がある女性で加害者と別居中の方
- ②DV被害者自立支援講座アフター会報告書「After～わたしが私であるために～」
発行部数 1,000部

4. 概要と成果

- ①DV被害者が、専門家の助言と立ち合いのもと、当事者同士の語り合いと受容を通して、暴力によって失われつつあった自尊感情を取り戻し、心身の回復を促すことを目的とした連続講座を実施した。募集期間中に各相談機関がコロナにより休業状態であったため、相談機関経由での申込がなく、集客に苦戦した。また京都府が主催するDV被害者対象のグループカウンセリングと募集・開催時期が部分的に重複していた。対象者の参加機会を確保するためにも、今後開催時期が重ならないよう事前に調整したい。他の講座に比べ、当日の遅刻や欠席が多くなりがちなため、予定していた内容を効果的に実施できない場合がある。人数に合わせて内容を調整することにも限界があるため、最少催行人数を設定した募集について検討すべきかもしれない。
- 参加者が少なかったためアフター会は実施せず、トラウマケアの読書会を案内した。読書会には積極的に参加されており、元気を取り戻す様子がうかがえた。
- ②DV被害者自立支援講座の意味と効果、参加された方のその後の状況を知っていただくための冊子『After～わたしが私であるために～』を発行し、京都府内の男女共同参画センターを中心とした相談機関に配布した。配布後は、女性相談ネットワーク会議や支援施設での研修等で紹介され、複数の施設から次年度の事業の開催予定や再配布の問い合わせがある等、波及的効果があった。

公益2	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する相談	条項	第4号		
事業名	相談事業	事業企画課			
講座名	②トラウマケアのための読書会				
目的	性暴力の被害によりトラウマを抱えている人を対象に、読書会を通し自尊感情を取り戻し心身の回復を促す				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	300	198	102		

事業の計画

1. 実施内容
・ トラウマケアのための読書会の実施(10回)
2. 事業実施における課題
・ 参加者にとって安心・安全な場の提供 ・ 関連機関との連携
3. 実績
回数(9) 定員(各15) のべ参加者数(93) 【日時】 5月11日(中止)、6月8日、7月13日、9月14日、10月12日、11月9日 2月8日、3月8日(火)10:00~12:00 8月21日・12月18日(土)10:00~12:00 ※8月12月は語り合い 【対象】DV等女性に対する暴力の被害を経験した女性 【講師】竹之下雅代(ウィメンズカウンセリング京都) 【内容】読書を通じて、トラウマの影響や自分を大切にするセルフ・ケア等を学ぶ 『赤ずきんとオオカミのトラウマ・ケア』白川 美也子／著 アスク・ヒューマン・ケア／発行 ※テキストは貸出
4. 概要と成果
<p>DVや性暴力の被害によりトラウマを抱えている女性を対象に、専門家の立会いのもと、読書を通じて心身の回復を図るとともに、中長期支援の観点から1年を通じてDV被害者が支援にアクセスでき安心して集える「居場所」を提供し、当事者のゆるやかなつながり作りに取り組んだ。</p> <p>開催にあたっては安心・安全を確保することが最も重要なため、日時・場所等は、担当者が直接確認した参加者のみに伝えた。また、参加者それぞれの回復状態が異なる中、互いの経験を過度に聴いて不安を感じることがないように、「読書」によりそれぞれが自分の身に起きたことを整理しつつ、「読んだ内容」についての感想を話すことを前提にすることで、それぞれが適度に自己開示しつつ安心・安全な場を維持することができた。</p> <p>毎回定員程度の申し込みがあるものの、当日の遅刻や欠席が多くなりがちである。強制せずゆるやかにすすめたい。</p>

公益2	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する相談	条項	第4号		
事業名	相談事業	事業企画課			
講座名	③大学相談室派遣事業／④相談員研修				
目的	③大学内の相談室に相談員を派遣し、相談者の問題解決を支援する ④相談員のスキルアップを図る				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	950	1,056	△ 106		

事業の計画

1. 実施内容
<p>③佛教大学の委託を受け、学生や教職員対象のハラスメント相談室に相談員1名を派遣する(週1回)</p> <p>④相談員を対象にグループスーパービジョンや研修を実施する</p>
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女共同参画の視点での問題解決の落とし込み ・ さまざまなハラスメント事例に対応できる職員の体制づくり
3. 実績
<p>佛教大学において、ハラスメント相談室に来所する学生・教職員の相談に対応した。 (木曜 月2回／金曜 月3回 12:30～16:30) グループスーパービジョン10回、相談連絡会議2回を実施した。</p>
4. 概要と成果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 佛教大学ハラスメント相談室において、学生・教職員の相談に対応した。今年度から木曜(月2回)の担当も依頼されたため担当者を派遣している。また、学内において人権相談窓口や学内相談員向けの研修についてアドバイスを行った。 ・ 相談員のグループスーパービジョンでは、スーパーバイザーからのアドバイスをもとに、事例検討を行った。男性相談、男性DV電話相談、女性への暴力相談担当カウンセラーとともに連絡会議を2回実施し、それぞれの課題や問題点を共有した。

公益2	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する相談	条項	第4号		
事業名	相談事業	事業企画課			
講座名	不安を抱える女性に寄り添った相談支援事業				
目的	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、孤独・孤立で不安や困難・課題などを抱える女性に寄り添い、社会とのつながりを回復する。				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	14,500	14,500	0		

事業の計画

1. 実施内容
不安を抱える女性に寄り添った相談支援事業の一環として、居場所づくり事業を実施する。
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・対象に届くための効果的な広報 ・対象に適した情報提供や居場所の提供
3. 実績
<p>京都市「不安を抱える女性に寄り添った相談支援事業」受託事業</p> <p>(1) つながる相談室の設置 【実施期間】7月1日(木)～3月31日(木) 受付件数 150件</p> <p>(2) 生理用品提供事業 【実施期間】7月1日(木)～3月31日(木) 配備数: 10,000パック(つながる相談室チラシ入り) 配付先: ウイングス京都を含む市内関係機関</p> <p>(3) つながるスペース(居場所づくり事業) 4回 ① 女性のための居場所 つながるスペース「聞いてみたい。どんな支援があるの？」 応募者数(19)／後日配信応募者数(20) 【日時】1月25日(火)14:00～15:30 【対象】不安を抱える女性／支援について知りたい方 【開催形式】オンライン開催(後日配信あり) 【内容】・支援機関より情報提供 ・質問タイム 【登壇者】 ・京都市保健福祉局生活福祉部生活福祉課生活困窮者自立相談支援員 ・京都市発達障害者支援センター「かがやき」職員 ・社会福祉法人 宏量福祉会 野菊荘「こもれび」職員 ・公益財団法人 京都YWCA 職員</p>

②考えるためのみんなの居場所 つながるスペース

「今こそ、生理の“あたりまえ”を考えよう」

定員(20) 応募者数(20)／後日配信応募者数(59)

【日時】2月5日(土)14:00～16:30

【対象】テーマに関心のある方

【開催形式】オンライン開催(感染防止のため会場開催から変更)

【内容】・専門家トーク 講師:宮原 優(立命館大学客員研究員)

・大学生による活動報告

登壇者:大月隆生(立命館大学大学院生／Re:SEX)

登壇者:特定非営利活動法人 お客様がいらっしゃいました。

・グループトーク

③女性のための居場所 つながるスペース

ひとり親(女性)対象「聞いてみたい。どんな支援があるの？」

定員(20) 応募者数(20) 参加者数(16) 定員充足率(80%)

【日時】3月13日(日)14:00～15:30

【対象】支援について知りたいひとり親の女性

【保育・託児】無料 保育:4ヶ月～未就学児・託児:小学1年生～4年生

【開催形式】会場開催

【内容】・団体紹介 ・情報収集&交流会 ・フードバンクより食品提供

【協力団体スタッフ】

・京都市ひとり親家庭支援センター「ゆめあす」職員

・社会福祉法人 宏量福祉会 野菊荘「こもれび」職員

・(公社)京都市シルバー人材センター ばあばサービスピノキオ 施設長

・認定NPO法人セカンドハーベスト京都

④特別版 ひとり親家庭の母子対象「出張mama＊cafe～親子リトミック」

定員(親子10組) 応募者数(7組15人) 参加者数(4組8人)

運営・企画:(一社)京都市ひとり親家庭福祉連合会

(公財)京都市男女共同参画推進協会

【日時】3月20日(日)14:00～15:30

【対象】ひとり親家庭の母親と1歳～3歳の子

【開催形式】会場開催

【内容】・親子リトミック

講師:吉田桐子(特定非営利活動法人リトミック研究センター認定講師・保育園音楽教師)

・ほっこりおしゃべりタイム

(4)居場所づくり事業に関する聞き取り調査

【期間】1月20日(木)～2月7日(月)

【調査対象】4団体

・社会福祉法人 宏量福祉会 野菊荘「こもれび」

・公益財団法人 京都YWCA自立支援ホーム「カルーナ」

・障害者就労継続支援B型事業所「Salut」

・公益財団法人 京都市ユースサービス協会

4. 概要と成果

(1) つながる相談室

電話相談、面接相談に加え、オンライン面接を導入し、150件を受理した。

本事業を通し、さまざまな支援機関と連携することにより、支援の幅が広がった。複合的な問題を整理し、適切な支援につなげることができた。

(2) 生理用品提供事業

生活困窮等で生理用品を充分に入手できない方を対象に、ウイングス京都を含む市内関係機関で無料提供した。提供する際には「つながる相談室」へのチラシを同封し支援につなげる工夫をした。

(3) つながるスペース

コロナ禍で不安を抱える女性のための居場所づくり事業として4つのテーマに沿った事業を実施した。

① 虫活に不安を抱える女性が、他人を気にすることなく支援情報を得られるよう配慮し、Zoomウェビナーを使いオンラインで実施した。これまで相談することを躊躇していた女性たちにそれぞれの機関の支援メニューや制度等について詳しく紹介し、個々の質問に答えることで、支援につながることへの抵抗感が少なくなるよう工夫した。

② 「生理の貧困」を生活困窮という視点だけでなく、生理に関わる全てのことを視野に入れ、専門家のトークをはじめ大学生による活動報告もまじえ、「生理」について考えた。内容をグラフィックレコーディングで可視化することで、参加者の理解が深まり、満足度の高い講座になった。

③ ひとり親の女性を対象に、支援団体に直接質問したり参加者同士が交流する機会を提供した。また、フードバンクからの食品を無料提供した。同じ立場、同じ目線で話せる心地よい居場所は好評であった。

④ 8歳までの子どもをもつひとり親女性を対象に、親子リトミックとほっこりおしゃべりタイムを京都市ひとり親家庭福祉連合会と連携して実施した。参加者は振るわなかったが、親子共々リラックス効果が見られ好評であった。

(4) 居場所づくり事業に関する聞き取り調査

地域での効果的な居場所運営を行うために何が必要なことを探るために、地域で女性支援を行っているNPO団体等に聞き取り調査を行った。利用者のニーズを兼ねた居場所の運営は単体では難しいが、本事業のプラットフォームを活かすことで、良い居場所の提供につなげていきたい。

公益2	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する相談	条項	第4号		
事業名	関係機関連携／苦情・要望等処理制度の受付		事業企画課		
講座名	関係機関連携／苦情・要望等処理制度の受付				
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談に関わる機関との連携により、支援機関の相互交流と、支援員の資質向上を図る ・ 京都市男女共同参画苦情・要望等処理制度の受付を行う 				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	90	30	60		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 女性のための相談ネットワーク会議(年2回) ・ 配偶者からの暴力に関するネットワーク京都会議 ・ 京都犯罪被害者支援連絡協議会・性犯罪被害者対策研究分科会 ・ 京都市域におけるDV被害者支援団体交流会 ・ 京都ストーカー総合対策ネットワーク連絡会議 ・ 苦情・要望等処理制度の受付
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 各機関同士の連携強化
3. 実績および4. 概要と成果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健福祉局生活福祉部生活福祉課より、2月～3月にかけて「住民税非課税世帯等に対する臨時給付金支給事務に係るDV等避難者に対する『DV等被害申出受理確認書』発行業務」を受託した。問い合わせ 11件 確認書発行 2件 ・ 関係機関の連絡会議は、感染拡大防止のため中止となった。 ・ 苦情・要望等処理制度の受付 1件 (制度の対象外として処理)

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援 及び相互交流の促進	条項	第5号		
事業名	地域コミュニティ活性化の促進事業	総務課/事業企画課/総合窓口課			
講座名	センター利用者や地域との協働事業				
目的	地域団体等と連携し地元との関わりを深めるとともに、ウイングス京都とその役割への認知度向上を図る				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	20	10	10		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 京都市男女共同参画市民会議運営懇談会による情報発信の協力 ・ 地元との連携強化(高倉小学校の活動紹介(KES活動)、夜間パトロールへの協力等) ・ センター利用者などによるロビーでの常設展示やイベントなどの開催
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 賛同団体の発掘と継続的な連携
3. 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高倉小学校の活動紹介(KES活動) 日彰自治連合会の夜間巡回パトロールの参加 日彰自治会お火焚き祭、初午祭の参加 ・ 常設展示やイベント ロビー常設展示…展示団体数のべ1団体
4. 概要と成果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、連携、協働の取組を行うことが難しい中、地元の日彰自治連合会との連携の強化に努めた。

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援 及び相互交流の促進	条項	第5号		
事業名	地域コミュニティ活性化の促進事業	事業企画課			
講座名	パープルリボンの取り組み他				
目的	「女性に対する暴力をなくす運動期間」(11/12~25)に合わせて、11月をパープルリボン月間と定め、イベントや展示をとおして市民が「女性に対する暴力の根絶」について考える機会を提供する				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	95	66	29		

事業の計画

1. 実施内容
「女性に対する暴力をなくす運動期間」(11/12~25)に合わせて、11月をパープルリボン月間と定め、イベントや展示をとおして市民が「女性に対する暴力の根絶」について考える機会を提供する
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・連携する団体との関係を維持し、広く市民に訴えることができるイベントの開催 ・パープルカフェメンバーのネットワークによるパープルフレンズの立ち上げに向けた地盤づくり
3. 実績
<p>①「パープルリボン月間2021 ～傷とむきあう～」 期間:11月1日(月)~11月30日(火) 場所:1F ロビーほか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DVサイバーによる報告冊子『After ～わたしが私であるために～』の配布 ・STAND Still ～性暴力サイバービジュアルボイス写真展～ ・STAND Still オンライントークイベント「性暴力サイバーたちの道のり」 ・DV防止に取り組む団体のパネル展/インフォメーションブース ・女性に対する暴力を考えるブックフェア/ブックリスト配布 ・京都市中央青少年活動センターコラボ企画 「これって、性暴力なの…？」パネル展(3F中央青少年活動センター) ・パープルカフェ特別編 映画「声なき叫び」上映会+アフタートーク 11月27日(土) 参加者:25名(定員30名) <p>②note「パープルカフェOnline」の更新</p>
4. 概要と成果
<p>①今年度より新たにテーマを設定し、各企画に統一感を持たせることを目指した。今年度は「傷とむきあう」を掲げ、当協会が長く取り組んでいるDV被害者自立支援講座のアフター同窓会による記録集の発行や、性暴力被害者による写真展などに関連させる形で深まりを持たせた。また、パープルカフェ特別編として、性暴力に関する上映会を実施した。多くの参加者が集い関心の高さが見受けられた他、専門家によるアフタートークも盛況だった。</p> <p>②更新頻度は少なかったものの、京都女子大学とのコラボ記事をアップするなど、当協会および市内団体の試みを伝えるツールとしての意義が明確になった。次年度以降より活用していきたい。</p>

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援 及び相互交流の促進	条項	第5号		
事業名	地域コミュニティ活性化の促進事業	事業企画課			
講座名	中京区民ふれあい人権映画鑑賞会				
目的	人権や男女共同参画に関わる企画提案や事業の実施、講師派遣等を行う。				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	520	520	0		

事業の計画

1. 実施内容
中京区役所から委託を受け、イベントホールで実施
2. 事業実施における課題
区民が関心を持ち、幅広い年齢層の参加につながるテーマ設定
3. 実績
<p>中京区民ふれあい人権映画鑑賞会「最強のふたり」 回数(1) 定員(100) 参加者数(98) 定員充足率98% 【日時】 12月11日(土)13:30~16:00 【内容】 映画「最強のふたり」(2011年制作/フランス/112分)を上映した。</p> <p>主 催:中京区役所 共 催:中京区民ふれあい事業実行委員会・中京区地域啓発推進協議会</p>
4. 概要と成果
<p>今年度はパラリンピックが開催され、障害のある人への関心が高まっていることから、障害のある人の心情や、交流していくために必要なことを理解する機会をさらに提供するため、「障害者の人権尊重と支え合う健康長寿のまちづくり」をテーマに映画鑑賞会を実施した。</p> <p>感染症対策として、入場時に検温を行い、手指消毒を依頼した。また、密を避けるため、座席をなるべく空けるように誘導した。</p> <p>参加者アンケートでは、「満足・大変満足」が93%と大変好評であった。「障害者を特別視せず、人間対人間のつきあいを大切に、そして信頼という基本的なことを教えられた。」「普通に接するのはなかなか難しいけれど、知らないふりをするのではなく声をかけたいと思った。」「自分自身も大切だが他の人にも同じ人権がある。」「支援員として、つながり方について良い方法を考えさせられた。」といったご意見が寄せられ、障害のある人への理解を深める契機になった。</p>

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援 及び相互交流の促進	条項	第5号		
事業名	人材・団体育成事業	事業企画課			
講座名	市民活動サポート事業				
目的	男女共同参画社会の実現に向けた取組や企画をもつNPOやグループに対し、 助成を行い、地域における男女共同参画の推進を図る				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	340	206	134		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女共同参画の推進に関わる活動をしているNPOやグループなどの実践的な研究や活動に対して助成し、男女共同参画の実現を目指す多様な取組をサポートする
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内のNPOやグループの発掘と対象者への効果的な広報 ・ サポート団体の企画実施に向けた適切な支援

3. 実績

応募のあった4団体のうち、3団体に助成を行った。

- ①非営利団体 Reframe 75,000円
- ②一般社団法人 ガールスカウト京都府連盟 72,000円
- ③LEO-G 80,000円

4. 概要と成果

新型コロナウイルスの感染拡大で緊急事態宣言が発令されたため、5月末の応募締切を6月末までに延長した。

どの団体も新型コロナウイルスの感染拡大の状況を鑑み、会場とオンラインのハイブリッドで開催された。会場に来られない方の参加も見込めたため、どの団体にとってもハイブリッドでの開催は集客に効果があった。

①【子ども支援のための講演会「困りごとを抱えた子どもたちに、今私たちができること」】

11月20日(土)14:00～16:00 ウィングス京都及びオンラインで開催

現在子どもたちが置かれている状況を考え、多様性を認めていくにはどうすればいいかを考えた。講演会・対談ともに、男女共同参画の視点を入れ、女性が必死に頑張って子育てするだけでは、困り事は解消されず、男女共に子育てにどう参画していくかが語られた。

②【自分ごとで考えるジェンダー教育】

11月23日(火)14:00～16:00 ウィングス京都及びオンラインで開催

ガールスカウトが行った調査から作成されたプログラムを使って、自分自身のジェンダーバイアスに気づくことを目的に開催。ワーク等で参加者同士が意見交換することで、ジェンダーに関わる問題に対する理解が深まった。

③【Withコロナ時代のシスターフッド～世代を超えて～】

2月6日(日) 14:00～16:00 ウィングス京都及びオンラインで開催

基調講演ではグラフ等の豊富な資料に基づき「コロナ禍の女性たち」の現状を、インタビューでは、生きづらさを抱える10代少女に居場所を提供する若い世代の支援団体から、その様子等が語られた。年配の世代と若い世代が意見交換することで、世代を超えた連携の重要性が認識された。

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援 及び相互交流の促進			条項	第5号
事業名	人材・団体育成事業			事業企画課	
講座名	防災教材づくり&ワークショップ(防災リーダー育成事業)				
目的	地域の防災訓練の場で活用できる防災教材を作成する				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	1,160	464	696		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時の女性の困難と対策、防災・減災を男女共同参画の視点で考えた防災教材の作成と、試作品を使ったワークショップの実施
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 府市の円滑な連携による運営 ・ 京都の状況に沿った府民が使いやすい「男女共同参画防災教材」の作成

3. 実績

・教材制作に向けた府内男女センターとのワークショップ(全2回)

回数(2) 参加者数(18) のべ参加者(31)

【日時】①6月18日(金)14:00~16:00(Zoomオンラインミーティング)

②7月16日(金)14:00~16:00(会場:京都テルサ)

【講師】池田恵子(静岡大学教育学部教授、静岡大学防災総合センター兼任教員、減災と男女共同参画研修推進センター共同代表)

進行:久保智里(公益財団法人京都市男女共同参画推進協会職員)

【内容】

① 防災カード作成にあたり、京都府・京都市の男女共同参画センターに加え京都府内市町村男女共同参画センターも参加し、市町村の地域のニーズ等について意見交換を行った。

②「問い」を整理・分類したものを事前に準備し、テーマごとにグループに分かれて検討を行った。

・公開ワークショップ ※2022年1月29日に実施を予定していた公開ワークショップは、新型コロナウイルス感染症対策のため中止

・教材『きょうとみんなの防災カード』の発行

制作数:300個(ウイングス京都200個/らら京都100個※府内センター分含む)
1個 2,200円(税込)

4. 概要と成果

府内男女共同参画センターや防災担当部署との連携により、地域の防災訓練等で活用できる「きょうとみんなの防災カード」を制作した。

【成果物】『きょうとみんなの防災カード』

災害時に発生する多様な困りごとに対応するために欠かせない「男女共同参画の視点」を取り入れるための教材。

解説書をもとにカードに書かれた「問い」について話し合い、安心・安全な避難生活に備えるための様々な人の経験、考え方、知恵を共有するツールとなる。

[内容]カード 54枚(ハート、スペード、ダイヤ、クラブ各13枚 ジョーカー2枚)

解説書 B3両面/箱(キャラメル箱) /補助教材ワークシート(WEB提供)

4つのテーマごと、カードそれぞれに「問い」を設定

♥安心・安全な避難所 ◆衛生・健康を守る

♠男女共同参画な備え・運営 ♣多様な視点で備える

[監修]減災と男女共同参画 研修推進センター

[企画]公益財団法人 京都市男女共同参画推進協会

[発行]京都府男女共同参画センター らら京都/京都市男女共同参画センター ウイングス京都

[協力]福知山市男女共同参画センター/舞鶴市男女共同参画センター フレアス舞鶴/
綾部市男女共同参画センター/宇治市男女共同参画支援センター/城陽市男女共同
参画支援センター ぱれっとJOYO/向日市女性活躍センター あすもあ/長岡京市男女
共同参画センター “いこ～る”プラス/八幡市女性ルーム/京田辺市女性交流支援ルー
ム ポケット/京丹後市女性センター/木津川市女性センター

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援 及び相互交流の促進	条項	第5号		
事業名	人材・団体育成事業	事業企画課			
講座名	共催・後援事業／講座受講生のグループ育成				
目的	男女共同参画推進に関わる事業等を実施する機関やNPOと協働し、会場提供や広報協力を通じて事業の推進を支援する				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	140	10	130		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女共同参画社会の実現に向けた企画について共催・後援を行う ・ 講座から発生したグループの支援を行う
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 協働団体との連携 ・ グループの自立化を目指したサポート体制
3. 実績
<p>共催事業 2件 後援事業 0件</p>
4. 概要と成果
<p>前年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大で、緊急事態宣言が発令されたり、まん延防止措置がとられたりしたため、共催事業や後援事業の申請が少なかった。共催した団体はいずれも、新型コロナウイルスの感染拡大で、会場での開催を心配されていたが、感染対策を十分に行った上で、2団体とも無事開催することが出来た。チラシよりもSNSで講座を知った方の参加が多かったという団体もあり、SNSにシフトさせた広報にした方が効果的かを各団体と今後検討していきたい。</p> <p><別紙5>「2021年度 共催・後援事業」(p.72)</p>

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援 及び相互交流の促進	条項	第5号		
事業名	人材・団体育成事業	事業企画課			
講座名	相談員養成講座				
目的	対人援助に携わる人を対象に、男女共同参画の視点を持ち、個人の問題を社会の問題としてとらえることのできる人材を養成する				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	945	0	945		

事業の計画

1. 実施内容
・保健福祉センター等と連携し、「DV家庭における支援」をテーマに連続講座(2回)を実施する
2. 事業実施における課題
・DVの基礎的な知識と現場の課題や問題点を踏まえた講座内容の構築
3. 実績および4. 概要と成果
<p>2015年度から2018年度までのべ人数968人が受講。 (2017年度はインターン受入れのため講座はなし) 2019年度からは、コロナ禍のためグループ討議を中心とした講座の実施が困難なことから中止となっている。 これまでに1,000人近くの方を輩出し、ジェンダーの視点を持った相談員養成としての役割を一旦終了する。</p>

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援 及び相互交流の促進		条項	第5号	
事業名	京都市男女共同参画センターの目的利用 団体に対する施設管理業務		総務課・総合窓口課		
目的	京都市の指定管理者として、京都市男女共同参画センターの施設管理業務を 円滑に行い、男女共同参画の推進拠点として市民の生活に根差した活気ある センターを目指す				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	32,052	30,321	1,731		

事業の計画

1. 実施内容
<p>(1) 施設の維持管理 京都市男女共同参画センターの施設・設備の維持管理</p> <p>(2) 男女共同参画社会実現の目的に即して活動する団体を育成、支援するために、 目的利用団体として登録し、優先的に施設の貸出しを行う</p> <p>(3) KES環境マネジメントにおける環境改善(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水の利用 基準年(2018年度)比100%以下 ・ 紙の使用(A4用紙) 基準年(2018年度)比100%以下 ・ 環境保全 近隣の高倉小学校と連携し環境保全に努める 同校の保全活動を紹介し、施設利用者への啓発を行う <p>(4) サービス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の利便性に配慮した支払い方法の実施 (一部施設利用料の振込制度導入) ・ より使いやすい施設利用の検討及び実施(Wi-Fi設置等) ・ 利用者アンケートによるニーズの把握、改善 <p>(5) センターの認知度向上 男女共同参画関連のパネル展の開催を通し、センターの目的周知を図る</p> <p>(6) 危機管理・防災計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消防訓練の実施、防災マニュアルの精査及び改正 ・ 避難所・妊産婦等福祉避難所開設の準備(訓練への参加・備蓄品の保管等)
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな目的利用団体の開拓

3. 実績

- (1) 京都市男女共同参画センターの施設・設備の維持管理のために、保守点検・修繕を行った。
- (2) 男女共同参画社会実現の目的に即して活動する団体を育成、支援するために、目的利用団体として登録し、優先的に施設の貸出しを行った。
＜目的利用登録団体数＞ 55 団体（前年度:73団体）
＜目的利用事業数＞ 0 件（前年度:0件）
- (3) KES環境マネジメントにおける環境改善（目標）
全項目で目標値を達成
- (4) サービス向上
 - ・ 利用者アンケートによるニーズの把握、改善
コロナウイルス感染拡大防止の観点から昨年度と同様に実施しなかったイベントホール、ギャラリスペースの利用者に対して、振込による利用料金の支払いを導入した。（53件/150件）
また、会議室等にWifiを導入し、利便性の向上を図った。
- (5) パネル展の開催（再掲）
- (6) 危機管理・防災計画
 - ・ 緊急マニュアルの改訂
改訂した緊急マニュアルを元に消防訓練（研修）を実施
2月21日（月）・22日（火）
 - ・ 福祉避難所運営マニュアルの改訂

4. 概要と成果

- (1) 経年劣化による空調設備の修繕等、約5,700千円の修繕費を計上した。
- (2) 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、連携、協働の取組を行うことが難しくなった。また、会員の高齢化等によりこのタイミングで解散する団体が多数あり、目的利用登録団体数が減少した。
- (3) 水の使用量の削減 基準年度比 80.6%
A4用紙の使用量の削減 基準年度比 75%
高倉小学校が育成したヒオウギを祇園祭りの期間に合わせて1階ロビーで展示
- (4) 4月よりフリーWi-Fiを導入した。多い日では7団体の利用があり、利用者の利便性の向上につながった。（年間利用496件 月平均利用45件）
- (5) 男女共同参画週間及び国際女性デーに合わせ、関連するテーマのパネル展を実施した。展示とともにブックフェア、映画上映会を開催し、利用者（参加者）が複数の事業に参加し、テーマをより深めることを意識した。
- (6) コロナウイルス感染拡大防止の観点から、避難訓練、普通救命講習は実施せず、マニュアルの改訂、それを元にした研修を実施した。

収益		(単位:千円)			
定款	収益事業				
事業名	京都市男女共同参画センターの目的利用 団体以外に対する施設管理業務	総務課・総合窓口課			
目的	京都市の指定管理者として、京都市男女共同参画センターの施設管理業務を円滑に行い、男女共同参画の推進拠点として市民の生活に根差した活気あるセンターを目指す				
	予算額	執行額	増減	会計	収益事業
事業費	58,235	51,628	6,607		

事業の計画

1. 実施内容

- (1) 施設の維持管理
 - ・WiFi環境の保守管理業務
 - ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のための清掃業務の充実
- (2) 目的利用以外の団体に対し、施設の貸出しを行う
- (3) KES環境マネジメントにおける環境改善(目標)(再掲)
- (4) サービス向上(再掲)
- (5) センターの認知度向上
 - SNSを使った広報の充実(Facebook・Twitter等の活用)
- (6) 危機管理・消防訓練・防災計画(再掲)

2. 事業実施における課題

- ・ ギャラリースペースの認知度向上と新規利用者の開拓
- ・ 若年層利用者の開拓に向けたSNSを活用した情報提供

3. 実績

- (1) WiFi環境を整備し、施設利用者に対してサービスを提供した。
職員による館内のドアノブ、階段の手すりの消毒作業を実施した。
- (2) 施設利用率(日数利用率) 73.0% (前年度 61.3%)
貸館利用料 46,147,975 円 (前年度 44,184,865 円)
入館者数 222,035 人 (前年度 236,428人)
<別紙6-1>「2021年度 京都市男女共同参画センター利用状況」(p.73)
<別紙6-2>「2021年度 京都市男女共同参画センター利用状況(時間帯別)」(p.74)
- (5) 事業や施設に関する情報をSNSで発信し、主に若年層の認知度向上に努めた。

4. 概要と成果

コロナウイルス感染拡大防止の観点から、利用者が安心して利用できることを目的として、職員による館内のドアノブや手すりの消毒作業を実施。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4/28～5/31の完全閉館をはじめ、夜間の閉館時間短縮や一部休館等が相次いだ。また10月～2月まで天井改修工事により、スポーツルームを閉鎖した。その中でも、サービス向上、安心・安全な環境整備に取り組み、前年度よりも利用率では12%程度、貸館利用料収入は5%程度増加した。

ギャラリースペースの広報は、これまでに利用があった団体や市内関連施設に向けて、チラシを配布し、利用率は5.7%増となった。

3. 実績

(1) 評議員会・理事会の開催・運営

- ・ 理事の改選 評議員会において選任
- ・ 評議員会 6/21(月)
- ・ 理事会 定時 第1回 5/31(月) 第2回 3/24(木)
臨時 6/21(月)
- ・ 業務執行理事会 5/17(月)、3/11(金)

(2) 組織 <別紙7>「組織体制」(p.75)

(3) 指定管理に関する業務

- ・ 情報公開 公開件数 5件(相談業務に関する個人情報開示請求)
- ・ 個人情報保護の取り扱い 問題なく運用

(4) 人事・労務・研修

- ・ 人事評価 2020年度後期 2021年5月実施
2021年度前期 2021年11月実施
- ・ 研修
<別紙8>「2021年度研修一覧」(p.76)

(5) 公益法人に関する業務

- ・ 2020年度事業報告 2021年6月30日提出
- ・ 2021年度事業計画 2022年3月31日提出

その他

華頂大学のインターンシップ生の受入れ(2名) 8月

4. 概要と成果

評議員会、理事会を、2020年度に引き続きWEB会議システム(Zoom)にて行った。
2019年度に採用した嘱託職員2名について、プロパー職員への採用試験を行い、2022年度4月より正規職員として入職することとなった。

法人	(単位:千円)				
定款	組織運営				
事業名	財務運営		総務課・総合窓口課・事業企画課		
目的	収益の安定と収支相償				
	予算額	執行額	増減	会計	法人会計
事業費	-	-	-		

事業の計画

1. 実施内容

収益の安定

- ・ 貸会場の稼働率を上げ、収益の安定をはかる
特に稼働率が低い施設については、広報を強化するなど対策を講じる
- ・ 会議室のWifiの利用が可能であることを広報し、稼働率向上に努める
- ・ オンラインを活用した自主事業の実施により、定員増や遠方からの受講生の獲得を目指す
- ・ 京都市、他都市や企業・大学からの事業の受託

2. 事業実施における課題

- ・ コロナ対策や施設老朽化への対応を見据えた指定管理料の見直しを京都市と協議
- ・ 稼働率向上のための取組み
- ・ 事業収益の拡大
- ・ 寄附金の増収
- ・ 収支の均衡

3. 実績

- ・施設利用
日数利用率 2020年度 61.3% 2021年度 73.0%
施設利用料収益 2020年度 44,184,865円 2021年度 46,147,975円
- ・オンラインを活用した自主事業の実施
LGBT等居場所づくり
ジェンダー論基礎講座
- ・京都市、他都市や企業・大学からの事業の受託
佛教大学ハラスメント相談業務
女性活躍推進シンポジウム及びセミナー(京都市)
不安を抱える女性に寄り添った相談支援事業(京都市) 新規
中京区民ふれあい人権映画鑑賞会(京都市)
「住民税非課税世帯等に対する臨時給付金支給事務に係るDV等避難者に対する『DV等被害申出受理確認書』発行業務」(京都市) 新規
- ・稼働率向上のための営業やサービス向上の取組み
サービス向上の一環として、昨年に引き続き、イベントホールなど一部の会場利用料の振込制度を実施した。また、4月からすべての会議室やイベントホール等にWifiを設置した。

4. 概要と成果

2度の緊急事態宣言、4度のまん延防止等重点措置を受け、施設利用に関しては、例年よりも低い利用率であったが、前年度比では12%程度上昇した。

オンライン配信での事業の実施ができる設備を整備、またEコマースでの発行物の販売や、講座のチケット販売を開始した。

コロナ禍に対応した事業として、「不安を抱える女性に寄り添った相談支援事業」「住民税非課税世帯等に対する臨時給付金支給事務に係るDV等避難者に対する『DV等被害申出受理確認書』発行業務」を新たに京都市から受託した。